

貝毒プランクトン調査

受理年月日	令和元年5月10日	着色域なし。 採水9:00-11:00				
情報提供者	水産研究センター					
出現状況	発生年月日	場所		発生範囲		
		宇和海 中部～南部		—		
被害状況	—	無	プランクトンモニタリング結果 (単位: cells/mL)			
種類	地点番号	①	②	③	④	⑤
	北灘	家串	御荘	赤水	下波	
	3m水温	18.5	18.5	18.7	18.7	17.0
	珪藻類 (整数表示)	163	0	201	360	321
【麻痺性貝毒】						
	アレキサンドリウム属	0	0	0.028	0	0
	ギムノディニウム・カテナータム	0.008	0.008	0.004	0	0
【有害赤潮形成種】						
	ココロディニウム・ポリクリコイデス	0	0.121	0.636	0.046	0.032
指導状況	<p>この調査で危険濃度を超えるプランクトンは見られませんでした。</p> <p>少量のココロディニウムが引き続き観察されています。近隣の他県海域では数十以上の細胞が観察されているので、愛媛県下においても注意をお願いします。</p> <p>まひ性貝毒原因種のアレキサンドリウム属の危険濃度は500cells/mL、ギムノディニウムカテナータムの危険濃度は0.100cells/mLです。有害赤潮原因種・ココロディニウム・ポリクリコイデスの危険濃度は300cells/mL 1000倍濃縮検鏡。</p>					
						